



季刊



↑最新情報は
市HPから

KIDS お城ニュース

第14号

令和5年12月発行

お問合せ先

島原城築城400年記念事業実行委員会

(島原市しまばら観光課内)

0957-63-1111 (内線216)



松倉重政の像（島原城所蔵）

注目情報！

まつくらしげまさ しまばらじょうちくじょう かいし
松倉重政が島原城築城を開始

したのは、げんなねん ねん
元和4年（1618年）のこと

とです。かんせい ねん さいげつ
完成までには7年の歳月が

かかり、かんえいがんねん ねん
寛永元年（1624年）には

しろ しゅうぶぶん で き あ
城の主要部分が出来上がっていた

かんが へいせい ねんど
と考えられています。平成30年度

(2018年度)にスタートしたしまばらじょう
築城400年記念事業。ちくじょう ねん
築城400年

とし れいわ ねん ねん
の年となる令和6年（2024年）が、い

よいよやってきます。

島原城カウントダウン

～築城400年を笑って迎えよう～



■日時 2023年12月31日(日)20時から
2024年1月1日(月・祝)1時まで

■場所 島原城本丸
※雨天時は島原文化会館

吉本芸人多数出演のステージイベント、飲食
物販、島原城夜間開館「島原城夜の陣」を実
施。除夜の鐘つき、年越しそばの振る舞いも
島原ライオンズクラブの主催で開催。築城
400年の令和6年を迎える瞬間を、みんなで
笑って迎えましょう！詳しくは、島原城天守
閣事務所へお問合せください。(TEL 0957-
62-4766)

ならけんごじょうし あい まつくらしげまさ 奈良県五條市で愛される松倉重政

まつくらぶんごのかみしげまさ
松倉豊後守重政は、キリシタン弾圧と過重な年貢徴収によって、島原・天草一揆（島原の乱）を引き起こしたと言われる一方で、島原城を中心とした城下町を造り、今日までの島原発展の基礎を作った人物です。重政の評価はさまざまですが、島原から遠く離れた奈良県五條市においては、名君として称えられていることを、皆さんは知っているでしょうか。

しげまさ
重政は、戦国大名で大和郡山城主・筒井順慶の重臣・松倉重信の子として生まれました。筒井氏は改易（領地・身分の没収、御家とりつぶし）となりますが、重政は慶長5年（1600年）の関ヶ原合戦の戦功により、慶長13年（1608年）、大和国二見五条（現・奈良県五條市）1万石の大名に取り立てられました。

しげまさ ふたみじょう きんせいじょうかく かいちく
重政は、二見城を近世城郭に改築したとされ、その城下町として「五條新町」を造りました。

じょうかまち そうせつ さい しょうにん まね い
城下町創設の際、商人をまちに招き入れるため、

しよやくめんきよ しよぜいめんじょ めんきよじょう しんまち ちょうにん
「諸役免許（諸税免除）」の免許状を新町の町人に

こうふ ごじょう ご しょうぎょう
に交付しました。五條のまちは、その後、商業と

しゅくば まち こうつう かなめ おお はってん
宿場の町、交通の要として大きく発展していきま

した。しげまさ ごじょう ち どうち おおさかなつ じん
重政が五條の地を統治したのは、大阪夏の陣

せんこう まんごくかぞう しまばらはんとう うつ
の戦功により、4万石加増となり島原半島へ移され

るまでの、わずか8年間です。しかしながら、まち

いしづえ つく しげまさ ごじょう ひとびと かんしゃ した
の礎を作った重政は、五條の人々に感謝され、慕

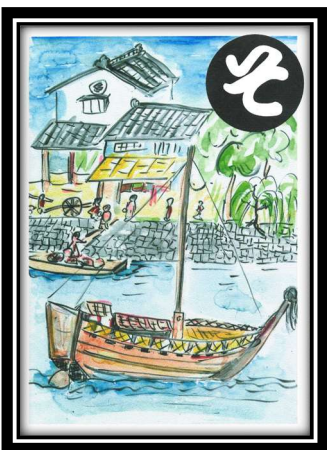
われています。



【写真】2023年11月19日、島原市 江東寺で開催された松倉重政公供養祭。奈良県五條市の横野久春氏（新町松倉講 講元）も参列した。

しまばら

島原いろはカルタ



むかし ふなぐら よ まち その昔 舟倉と呼ばれし 町もあり

おおてかわ はさ しまばらしやくしよほんちやうしゃ みなみがわ ちいき たかしま しまばらはん ふなぐら
大手川を挟んで島原市役所本庁舎の南側の地域「高島」は、島原藩の船倉
が建っていた場所である。古い呼び名や地名は、それぞれに歴史を持ち、呼
び名そのものが文化である。いつまでも大切に残したい。

出典：榊原武之「郷土史入門 島原いろはカルタ」さかきばら郷土資料館
絵札：絵・松尾卓次、発行・森岳商店街